



南幌町議会
議長
側瀬 敏彦

新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には希望に満ちた、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より町政はもとより議会運営に格別のご理解とご協力を賜り、心から厚く感謝とお礼を申し上げます。

昨年は、西日本豪雨災害や北海道胆振東部地震など大きな自然災害があり、お亡くなりになられた方々にご冥福を申し上げるとともに被災された方々にお見舞いを申し上げ、一刻も早い復旧復興を願うところであります。

町の基幹産業である農業につきましては、天候不順による農作物の生育不足に加え、追打ちをかける台風21号の影響で近年例を見ない甚大な被害を受けたところであり、町にとって大きな痛手となりました。あらためて防災や減災について、日頃から町民の皆様とともに心構えや備えを進めて行かなくてはならないと強く感じております。

町内では、野祭などのイベントをはじめ、多くの町民がそれぞれの分野でご活躍されたことに敬意と感謝を表します。

住民に身近な議会として、町が抱える人口減少・少子高齢化に対し「さっぽろ連携中枢都市圏」・「ボールパーク」構想など、他の自治体との連携や地域特性を活かした振興策を行政とともに推進し、老後も安心して暮らせるまちづくりを進めて行くことが必要不可欠だと考えます。

そのためにも絶えざる改革意識を持ち、諸処の課題を正しく審議する、開かれた議会を目指し議員一同、町民福祉向上のために町の地域力強化に努めてまいります。

本年4月をもって議員任期が満了となりますが、二元代表制の一翼を担う住民の代表機関である議会として強い自覚をもって、今後とも議員一同このような厳しい政治経済状況と地方分権が進む中、執行機関と切磋琢磨しながらまちづくりの主役は町民であることを第一に考え、町民皆様のご協力とご鞭撻を賜りさらに重責を全うしたいと決意しております。

結びになりますが「安心・安全」なまちづくりを基軸とした更なる町の発展と、町民皆様にとってご健勝で多幸な年であることをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

年頭のあいさつ

南幌町長

三好 富士夫



新しい年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、町政各般にわたり町民の皆様のご支援ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年9月には、北海道胆振東部地震の発生により道内各地で甚大な被害がもたらされました。被災されました皆様に対し、改めて衷心より哀悼の意を表するとともにお見舞い申し上げます。

本町においては、震度5弱を観測いたしました。幸いにも大きな被害はなかったものの、北海道全域が停電となる異例な事態が発生いたしました。この間、施設の開放や無料入浴などの対応を行いました。町民皆様のご理解ご協力、また、関係各位からの温かいご支援をいただきましたこと心からお礼申し上げます。

災害はいつ発生するかわかりません。ご家庭でできる防災の準備や地域での見守り、声掛けなど日頃からの防災力向上に努めていただきますようお願いいたします。

基幹産業である農業では、台風21号によるビニールハウスや農業用施設などの被害があったほか、長雨や日照不足など不安定な気象状況により全般的に収量が少なく、本町の農業にとって試練の年であったといえます。しかし、本町で生産された農産物は高品質で安全安心であることに変わりはなく、これからも町民の皆様には、お米や野菜など地元で獲れた農産物をぜひ食べていただきたいと考えております。

本年は「平成」から新しい元号となる節目の年となります。新しい時代に向かって、積極的に本町のPRをしていくとともに、効率かつ計画的な財政運営に努め、誰もが笑顔で活躍できるまちづくりを目指し、第6期総合計画に掲げた施策を中心に町政を推進すべく全力を挙げ取り組んでまいりたいと決意を新たにしております。

どうか、町民の皆様におかれましては、町政発展のため、より一層のご支援、ご協力をお寄せいただきたいと存じます。

最後に、ご家族ともども、ご健康で幸多い年であることを心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。